

科目・コース（ユニット）名： 皮膚・形成
英語名称：Dermatology・Plastic and Reconstructive Surgery

【担当責任者】主たる責任者：山本 俊幸（皮膚科）
コースコーディネーター：石川 真郷（形成外科）

【連絡先】

＜皮膚科学分野＞ TEL：024-547-1309（医局） メール：dermatol@fmu.ac.jp
＜形成外科学分野＞ 電話：024-547-1355（医局） メール：info@fukushima-keisei.jp

【開講年次】 3年 【学期】後期 【必修／選択】必須 【授業形態】講義

【概要】

＜皮膚科学分野＞

皮膚科学は年々細分化されてきているものの、皮膚に表現される症状のすべてを取り扱う。そのため、皮膚病変を理解するためには、皮膚の解剖学、生理学、生化学、免疫・アレルギー学、分子生物学などの基礎医学のみならず、内科学的知識や外科学的手技を駆使した多方面からのアプローチが要求される。

3年生次では、皮膚科学の基本的事項について学習する。発疹学の基礎を学び、その発疹を形成している病理組織学的な変化についても理解を深める。臨床例については理解を容易にするために、多数のスライドを中心にして講義を行う。皮膚疾患は非常に多数あるので、重要な疾患にしばらくは得ないが、授業でとり上げられなかった疾患についても、自己学習が義務づけられていることを自覚して欲しい。

皮膚科は病名が多く、難しい漢字も多いので勉強しにくいという声がよく聞かれるが、実は皮膚のトラブルを経験したことがない人はいないほど、皮膚科学はわれわれの身近にある学問なのである。皮膚科学に対するアレルギーを取り除き、講義を通じて皮膚科学の面白さを是非実感してもらいたい。

＜形成外科学分野＞

形成外科は、先天性であるか後天性であるかを問わず、外貌に影響を与え得る組織が損なわれた場合、形態的にも機能的にもこれを元の状態に復させようとする外科である。

わが国において、形成外科が独立した診療科として人々に認知されたのは、おそらく原爆被災者のやけどの治療に戦後アメリカから形成外科医が派遣され、治療を行ったのが最初ではないかと思われる。以来、先天奇形や外傷以外に外科手術や内科的疾患に伴う組織欠損や変形の治療にも領域を広げ、技術的進歩がこれまであきめられてきた状態の改善を可能にした。

形成外科は、臓器別に名を冠せられた科とは異なり、組織の種類に縛られず、非常に多くの疾患を扱う。他科との関連も複雑で、また現在も扱う領域は広がっているため、概念をつかみにくい。そのため、授業では、歴史的な背景を含めて「形成外科とは何か」という基本的なことの説明から始め、臨床例に及んで、具体的にいかなる疾患を扱っているのか、またどのように扱っているのかを理解してもらうようにする。将来、どの科を専攻しても役に立

つと思われる形成外科の知識を伝えることを主眼とした授業を行いたいと考える

【学習目標】

＜皮膚科学分野＞

一般目標

1. 皮膚疾患の概念を理解し、確定診断を行うのに必要な知識を身に付ける。
2. 皮膚の正常構造、皮膚疾患の病理所見を読み取ることにより、皮膚疾患の発生機序を理解する。

行動目標

1. 原発疹、続発疹の定義に従って皮膚所見を正確に取ることができる。
2. 皮膚所見から考えられる診断、および鑑別すべき疾患が列挙できる。
3. 鑑別に必要な検査法が列挙できる。
4. 初診の際に迅速に施行可能な皮膚描記症、真菌検査、Wood 灯、ウイルス検査、Tzanck 試験などが実施できる。
5. 光線過敏性試験、パッチテスト、皮内テスト、スクラッチテスト、発汗テスト、皮膚生検などの検査法が理解できる。
6. 皮膚の正常構造が説明できる。
7. 皮膚病理所見が説明できる。

＜形成外科学分野＞

【一般目標】

1. 形成外科の基本手技とその理論的背景を説明できる。
2. 形成外科の対象疾患と治療法を説明できる。

【行動目標】

1. 皮膚、脂肪、骨、軟骨、筋肉、筋膜の組織移植に関わる解剖と生着機序を説明できる。
2. 皮弁の分類を列挙し、それらの作図ができる。
3. 顔面外傷（軟部組織損傷、骨折）の診断・分類・治療法を列挙できる
4. 慢性潰瘍の成因と治療方法を説明できる。
5. 形成外科で扱う先天形態異常を列挙し、それらの代表的手術術式を説明できる。
6. 熱傷の重症度判定とそれに応じた治療法が説明できる。
7. 皮膚色素異常いわゆる「あざ」のレーザー治療について治療原理と適応を説明できる。

【教科書】

＜皮膚科学分野＞

皮膚科講義エッセンシャル（最初の授業時にデータ配布）

「標準皮膚科学」（医学書院）

「見てわかる皮膚疾患」（中外医学社）

<形成外科学分野>

なし

【参考書】

<皮膚科学分野>

「標準皮膚科学」 (医学書院)

「見てわかる皮膚疾患」 (中外医学社)

<形成外科学分野>

標準形成外科学 (第7版) 監修: 平林 慎一 編集: 鈴木 茂彦/岡崎 睦

図説形成外科学講座 (1~8巻、メジカルビュー社)

Plastic Surgery (Vol. 1~8、Mathes 編、Saunders)

「TEXT 形成外科」 (第4版) 南山堂

【成績評価方法】

<皮膚科学分野>

授業の評価は平常点、レポート、試験その他の方法により総合的に判定される。

筆記試験については、皮膚科、形成外科で個別に判定し、それぞれ合格判定基準を満たした場合を合格とする。

出席については規定に基づく。

<形成外科学分野>

授業の評価は平常点、レポート、筆記試験により判定される。

筆記試験については、皮膚科、形成外科で個別に判定し、いずれも正解率 60%以上の合格判定基準を満たした場合を合格とする。

出席については規定に基づく出席率 (3 分の 2) を満たさない場合は、原則筆記試験の受験資格を失う。

【学習上の注意事項】

<皮膚科学分野>

各授業の最初に、前回の講義内容の確認テスト、また授業終了時に確認テストを行う。

なるべく授業時間内で覚えるよう集中して臨んで欲しい。

<形成外科学分野>

形態の修復・改善を図る形成外科学の授業には、理解を確かなものとするために多くの症例写真が提示される。これらは幾多の症例から選り抜かれたものであり、多くの情報を含んだ、

再度見る機会がない貴重なものと思って見て欲しい。

【水平的統合授業の実施内容】

＜皮膚科学分野＞

上級学年では、BSL で回った際に、病理組織学の演習を、またアドバンスで回った際には国家試験問題を解説する予定である。

＜形成外科学分野＞

頭頸部再建（耳鼻科領域、口腔外科領域）、消化器外科再建（外科領域の食道再建・肝動脈再建）、顎顔面外科（矯正歯科とのチーム医療）

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

＜形成外科学分野＞

唇裂・口蓋裂に対する先端的治療法～術前顎矯正および一期手術
動静脈の皮膚穿通枝を用いた超薄型遊離皮弁の開発

【授業スケジュール】

＜皮膚科学分野＞

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/9/3	木	4	（講）皮膚科総論	山本 俊幸	
2	2026/9/10	木	4	（講）湿疹・皮膚炎・蕁麻疹	猪狩 翔平	
3	2026/9/17	木	4	（講）紅斑症・薬疹	入江 絹子	
4	2026/10/8	木	4	（講）悪性黒色腫・リンパ腫	大塚 幹夫	
5	2026/10/15	木	4	（講）皮膚疾患検査法	渡邊 幸奈	
6	2026/10/22	木	4	（講）角化症・膿疱症	石川 真郷	
7	2026/10/29	木	4	（講）水疱症	石川 真郷	
8	2026/11/5	木	4	（講）皮膚感染症	伊藤 崇	
9	2026/11/12	木	4	（講）皮膚腫瘍・熱傷	森 龍彦	
10	2026/11/19	木	4	（講）全身と皮膚・粘膜・サルコイドーシス	森 龍彦	
11	2026/11/26	木	4	（講）皮膚疾患治療法	高田 満喜	
12	2024/12/3	木	4	（講）膠原病・血管炎	山本 俊幸	
13	2026/12/10	木	4	（講）皮膚病理・総括	山本 俊幸	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
山本 俊幸	教授	福島県立医科大学 皮膚科学講座
大塚 幹夫	准教授	福島県立医科大学 皮膚科学講座
森 龍彦	講師	福島県立医科大学 皮膚科学講座
石川 真郷	講師	福島県立医科大学 皮膚科学講座
猪狩 翔平	助教	福島県立医科大学 皮膚科学講座
伊藤 崇	助教	福島県立医科大学 皮膚科学講座
入江 絹子	助手	福島県立医科大学 皮膚科学講座
渡邊 幸奈	助手	福島県立医科大学 皮膚科学講座
高田 満喜	助手	福島県立医科大学 皮膚科学講座

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

該当する

<形成外科学分野>

回数	年月日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	9月2日	水	6	概論「形成外科とは」	小山明彦	
2	9月3日	木	5	基本手技（縫合・植皮、局所皮弁、Z形成術など）	佐藤順紀	
3	9月3日	木	6	外傷（顔面外傷、熱傷）	富塚陽介	
4	9月9日	水	6	唇裂・口蓋裂、小耳症、その他の顔面の先天性形態異常	小山明彦	
5	9月16日	水	6	顎顔面外科、頭蓋顔面外科	小山明彦	
6	10月7日	水	6	再建外科1（有茎皮弁、遊離皮弁、四肢再建など）	齋藤昌美	
7	10月8日	木	6	再建外科2（チーム医療：頭頸部、消化器など）	齋藤昌美	
8	10月14日	水	6	顔面神経麻痺、体幹の形成外科（乳房再建、漏斗胸など）	渡部将伍	
9	10月21日	水	6	腫瘍、母斑、血管腫、レーザー治療	永峰恵介	
10	11月25日	水	6	難治性潰瘍（褥瘡、下肢潰瘍、軟部組織感染症など）	永峰恵介	
11	12月2日	水	6	矯正歯科学（歯科矯正の基本、形成外科との関わり）	川鍋 仁	
12	12月9日	水	6	美容外科・抗加齢医療	小山良子	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
小山 明彦	教授	福島県立医科大学 形成外科
齋藤 昌美	准教授	福島県立医科大学 形成外科
富塚 陽介	助教	福島県立医科大学 形成外科
北村 成紀	助教	福島県立医科大学 形成外科
永峰 恵介	助手	福島県立医科大学 形成外科

佐藤 順紀	助手	福島県立医科大学 形成外科
渡部 将伍	助手	福島県立医科大学 形成外科
川鍋 仁	特任教授	奥羽大学 矯正歯科
小山 良子	非常勤講師	おやま形成外科美容クリニック

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

該当する